



## 加茂農林高校成果発表会に参加しました。

平成31年2月8日(木)新潟県立加茂農林高等学校の SPH 事業成果発表会に本校代表生徒7名が参加してきました。加茂農林高校も本校と同様に昨年度から文部科学省の指定を受け、「HSJ (Hop Step Jump) カリキュラムによる自立型地域リーダーの育成」の研究テーマで取り組んでいます。



【炭素循環農法に関する研究】



【空撮と最新測量技術の習得を目指して】



【花で街を彩ろう】

### 【生徒の気づき】

- ・ グループごとに題材・目的がしっかりと決められていた。
- ・ 1つ1つの科の研究が大規模で地域連携がとれていた。
- ・ 自分たちで研究内容を決められるのが良いと思った。
- ・ 炭素を肥料にすることによって無農薬にすることができ、人員も減らすことができるというのは、とても良いと思いました。
- ・ 地域との連携をたくさん行っていた。新工よりも活動に自由度があった。
- ・ 畑の土を変えていくと単に生産量が増えるだけでなく、人手不足や地産地消に対応できる。



【農林高校版 SDGs スクールを目指して】



### 【生徒の感想】

- ・ 先生などの協力はもちろん、生徒自ら行動してたりするのが凄いと思った。自分たちで決め行動することで発表も上手くなり、聴く側も退屈せず聴けるんだなと思った。
- ・ 発表の仕方と工夫を教わった。
- ・ 世界一のコケ玉つくりの発表では、他の学校の方もとても興味を示していて、これからどのように発展していくかとても楽しみです。
- ・ 生徒が主体となって様々な活動をしていた。
- ・ 校内で終わるのではなく地域と一緒にPR活動をしていることはとても重要だと感じた。
- ・ 海外研修を通して、今の課題を見つけ、ゴールを見つけ、それを多くの人に配信していけるのは、すごいなと思いました。
- ・ 海外の農業について調べたり、実際に行ったりしていた。現場に直接行くのは大切だと感じた。
- ・ 結果がどうであれ実際に行動することが大切だと思った。今後採り入れたい。

### 【職員の感想】

研究主任の発表の中で、本校と共通の課題が複数存在した。

加茂農林の生徒が行っている研究と成果がよくわかる発表ばかりで、参考になった。